

公衆衛生看護技術論

[講義] 1年 前期 選択 30時間 2単位

《担当者名》 佐藤美由紀[sato_m@hoku-iryo-u.ac.jp]
 明野聖子[naga-s@hoku-iryo-u.ac.jp]
 表山知里[omote_22@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

地域のアセスメントに基づいて、健康課題を解決するためのグループおよび地域組織を育成・維持し、発展させるプロセスを学び、公衆衛生看護において実践できる能力を養う。地域ケアシステムを構築するプロセスを理解し、ケアシステムを構築するための地域を単位としたマネジメントや多部署・多機関と連携・協働する方法を学び、基本的技術を習得する。

【学修目標】

- 1) 地域を対象とした支援、地区活動の目的、プロセス及び支援に関する理論を理解し、活用できる。
- 2) 地域の人々の生活と健康課題を多角的な視点から情報収集、アセスメントし、顕在的、潜在的な健康課題を見出すことができる。
- 3) グループ、地域組織および地区・小地域を支援する方法を理解できる。
- 4) 地域ケアシステムを構築するための方法を理解できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 公衆衛生看護における地域アセスメント	オリエンテーション 公衆衛生看護過程と地域アセスメント 地域アセスメントの過程	佐藤
2	地域アセスメントの基本と活用	地域アセスメントのモデル(コミュニティ・アズ・パートナーモデル)と枠組み	佐藤
3	地域アセスメントの展開方法(1)	母子保健領域における情報収集と分析	明野
4	地域アセスメントの展開方法(2)	成人保健領域における情報収集と分析	表山
5	地域アセスメントの展開方法(3)	高齢者保健領域における情報収集と分析	表山
6	地域アセスメントの展開方法(4)	精神保健領域および難病保健、感染症保健領域における情報収集と分析	明野
7	地域アセスメントの展開方法(5)	公衆衛生看護活動における健康課題 健康課題の特定と優先性	佐藤
8	地域組織活動の展開方法(1)	地域組織活動の考え方、地域組織の種類と特徴、グループの発展過程、地域組織の育成と支援	明野
9	地域組織活動の展開方法(2)	健康教育からグループ活動への発展、グループ活動の自主化と活動支援、自主グループから地域組織活動への発展、住民の主体性を高める支援	明野
10	地域組織活動の展開方法(3)	地域組織活動における住民参加を促進する技術 グループダイナミクス、コミュニティオーガニゼーション、コンコーダンス・モデル、コミュニティ・エンパワメント	明野
11	地域組織活動の展開方法(4)	パートナーシップ、CBPR(community-based participatory research)を活用した公衆衛生看護活動について、学生の発表・討議を通して学ぶ。	佐藤
12	地域ケアシステムの構築(1)	地域における社会資源と資源開発 ケアシステムの構築(プロセス、ポイント、技術、評価)	佐藤
13	地域ケアシステムの構築(2)	地域包括ケアシステム 地域包括ケアシステム構築事例の検討	佐藤
14	地域ケアシステムの構築(3)	域のネットワーク化、地域を単位としたマネジメント や多部署・多機関と連携・協働	佐藤
15	まとめ	地域アセスメントと公衆衛生看護活動の展開	佐藤

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

プレゼンテーション（40%）、ディスカッション（30%）、課題レポート（30%）により評価する。

【教科書】

標美奈子著者代表：標準保健師講座1公衆衛生看護学概論、医学書院

佐伯和子他編著：公衆衛生看護学テキスト 第2巻 公衆衛生看護の方法と技術、医歯薬出版株式会社

佐伯和子編著：地域保健福祉活動のための 地域看護アセスメントガイド、医歯薬出版株式会社

【参考書】

岸恵美子他編著：保健学講座 公衆衛生看護支援技術、メヂカルフレンド社

岡本玲子他編著：公衆衛生看護学テキスト 第3巻 公衆衛生看護活動、医歯薬出版株式会社

CBPR 研究会著：地域保健に活かすCBPR コミュニティ参加型の活動・実践・パートナーシップ、医歯薬出版株式会社

中村裕美子著者代表：標準保健師講座2 公衆衛生看護技術、医学書院

【備考】

Google Classroomを活用して課題や資料を提示する。

【学修の準備】

1) 提示された課題を実施する。

2) 指定された教科書および文献は、授業内容および学修課題に沿って熟読する。

【学修方法】

1～2回、7回、10回、14回は講義を行う。3～6回、8～9回、11回～13回、15回は、学生が発表・討議を行い、教員がコメントする。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。